

歯と口の健康を考えるための「歯科治療」情報

ダイヤモンドMOOK

頼れる 歯医者さん

2014



バイタリティの源は
「口の健康」から

7大陸最高峰を踏破した初の女性登山家

田部井淳子さんに聞くインプラント体験

死を招く歯周病！ その真実
糖尿病、肺疾患、心疾患との関係とは

毎日行うセルフケア——
歯は、いつ磨く？ 何で磨く？ どう磨く？

歯を失ってしまった時に
最適の治療を選ぶために——

**インプラント&
入れ歯の最新知識**

**口腔の機能美
を考える**

歯列矯正、ホワイトニング、
舌磨きと口臭ケア

一度は受けてみたい！
評判の「女性歯科医師」

医療者として、経営者として――歯科医院の現在と未来像を考える

昨今、インプラント事故などマスコミによるバッシングが盛んに行われているが、一方で歯周病などに関する情報も氾濫している。超高齢社会を迎えるにあたり、口腔の健康への関心が高まる中、歯科医師が果たすべき責務や医院の未来像について、N1会のメンバーに忌憚なき意見を語っていただいた。

治療の質を高めるには スタッフの教育・育成を

宇田川 歯科医師の力で社会に貢献しよう、日本を明るくしようとN1会は、お金で結びついている組織ではありません。お金を払えば入会できる組織もあるのですが、信頼関係で結びついている私たちN1会は、歯科医院での治療に責任をもつて、一番自由に意見を言える場であると自負しています。歯科医療の向上のため、考えていることをどんどん述べていきましょう。

私は、スタッフをいかに教育していくかという点で、経験に富んだ助言をいただき助かっています。いくら優秀な歯科医師がいても、スタッフの協力がなければよい治療はできません。スタッフ自身のモチベーションを高めるために研修会に参加してもらうなど、今後もスタッフの教育に力を入れていきたいと思っています。

斎藤 地域への貢献の一つとして、来院した患者さんを元気にする、イコール癒すということを心がけ

藤本 私は歯科衛生士の待遇を高める必要を感じています。せっか

ています。これはホスピタリティともいえますが、人のことを思いやつて治療にあたることが基本です。N1会は仲間のこと、地域のこと、日本のことを考える集まりですので、参考になる意見がいろいろ聞けて、勉強になります。

私は、資格を取得しても、職場での待遇がよくないために、辞めてしまふ人も少なくないと聞いています。高校の先生からも、歯科界に魅力がないので、進路指導でも勧めるのをためらうという声を耳にしました。スタッフ教育に力を入れている我々が、歯科界の魅力をもつと強く伝えていけたらと思います。

松井 歯科衛生士のライフサイクルを見ると、出産を機に辞めてしまう人が多いようです。産休期間の見直しも含め、歯科界全体で出産・育児を終えた人が戻つてこられる環境を整える必要があると思います。私の医院には保育士がありますが、これは子育て中の患者さんのためであるとともに、歯科衛生士をはじめとするスタッフのた





宇田川宏孝 医療法人社団スマイルプラス
宇田川歯科医院 錦糸町歯科インプラントセンター院長

篠田 每朝の朝礼や、スタッフ教育など、見学に来る歯科衛生士たちからは、こんな歯科医院は初めてですと言われます。仲間内では当然と思っていたことが、実は珍しいことだと改めて気づかされます。共に学び、共に成長しようとする、これがN-1会の特徴ですが、いつもいい刺激を与えてもらっています。お互に情報を共有し合いまい、日本の歯科界を変えていきましょう。



齋藤 敏 さいとう歯科医院 院長

マスコミ・社会も注目 歯科医師の社会的責任

宇田川 経営問題が出ましたが、一部の歯科医師が金儲けだけのために患者不在のインプラントを代表とする高額治療に走り、そのため歯科界全体がバッシングされる状況になっています。ほとんどの歯科医師が治療と経営の両面で地道な努力をしているのに、こんなおかしな話はありません。しかし、これは歯科医師の社会的責任がそれだけ重いということです。こうした社会的関心の高い業界であることを見をお願いします。



浜崎和磨 はまさき歯科医院 院長

野中 医療の原点は患者さんの役に立つ、助けることにあります。しかし現状の保険点数制度では、例えば予防歯科で効果的な処置を行うと自費治療となり、患者さんに浸透させていくことが難しい状態です。こうした点をマスク



藤本 淳 ゆいとぴあ歯科医院 院長

齋藤 以前インプラントの使い回しが問題になりましたが、これは歯科医師のモラル欠如の典型的な例ですね。しかしマスコミに報道されるような歯科医師の姿はほんの一部であり、多くの歯科医師は患者さんのために、高価な医療機器を導入する経営リスクを背負いながらやっています。当院ではC



松井利賢 医療法人まつい歯科
クリニック 院長

檜山 歯科医師の努力に関してはなかなか報道されませんね。当院では歯周病と糖尿病との関連を知つてただくために待合室に糖尿病のポスターを貼つています。すると患者さんからも糖尿病について質問されますし、歯の病気と全身疾患への関心がより高まつてきているようです。また最近は乳幼児の虫歯罹患率がかなり下がつてきており、これも歯科医師の長年にわたる努力の結果だと思います。こうした成果、努力こそマスコミには報道してほしい。

小島 たしかにお子さんの虫歯は減つてきているようですが、まだまだ予防の浸透の点では不十分だと思います。いわば社会的に歯科の重要性は認知されつつある

が、実は一番大切なことは地道な予防の努力だらうと思います。啓蒙活動などを通じ、この点をもつともつと訴えていきたいです。

藤本 テレビのコマーシャルでも歯周病をはじめ多くの情報が氾濫しています。中には不正確な点も見受けられますが、口の中に対する関心が高まり、それをきっかけにして歯科医院に通うようになつてくれればいいと思います。

野中 歯科医院は歯が痛くなつたら行くところという意識が、成人の場合とくにまだ根強い。これだけ平均寿命が伸びていますから、歯はそれこそ80年もたせなければなりません。そのためにはどうしても予防プログラムも必要ですし、日常的な手入れも必要になります。健康のために運動することもいいですが、その延長上に歯科医院に通うことも当たり前になつてほし

Tを導入していますが、インプラント治療だけではとてもペイできません。しかし、より正確な診断・治療のためにはいまやCTは欠かせません。

荻原

歯科医師の努力に関してはなかなか報道されませんね。当院

では歯周病と糖尿病との関連を知つてただくために待合室に糖尿病のポスターを貼つています。

すると患者さんからも糖尿病について質問されますし、歯の病気と全身疾患への関心がより高まつてきているようです。また最近は乳幼児の虫歯罹患率がかなり下がつてきており、これも歯科医師の長年にわたる努力の結果だと思います。こうした成果、努力こそマス

コミには報道してほしい。

ですが、国民全体が予防のために歯科に通うまでには至つていません。こうした点をマスコミが報道してくれれば、社会全体が変わっていくのではないで

しょうか。

予防だけで医院経営が成り立つのかという問題ですが、私はしっかりと成立すると思います。もちろん歯を削るほど保険点数が上がり、医院経営ができるという発想ではダメです。本質的には予防は患者さんの長期にわたる健康維持が目的ですが、そのためには、医療サービスの提供、例えば予防プログラムの作成にあたり、その費用を計上するとか、提供する価値に見合う費用を請求することなども含め、歯科医院の近未来的な経営のスタイルになると思います。

斎藤 治療後の良好な状態を維持するための予防と、今は何ともない

いが将来に備えて予防する、この二通りがあります。難しいのは今健康な人に、その状態を維持するためにも定期的な歯科検診が必要なことを理解してもらうことで

予防中心治療と経営問題歯科医院の将来像を描く

ですね。



篠田好雄 しのだ歯科医院 院長



荻原尚樹 医療法人社団双樹会
荻原デンタルクリニック 院長

松井 啓蒙ということで言えば、母親の子どもの歯に対する関心をもつと高めていけば、かなり効果があるのではないかでしようか。母親に連れられて歯科医院に通うことが当然となつた子どもたちなら、成人してからも、歯の健康の



野中幸治 野中歯科医院 院長

ためには歯科医院に定期的に通うことが当然という意識が定着します。子どものころからの動機づけは大切だと思います。

野中 歯科医院の側の受け入れ態勢も変える必要があるでしょう。治療中心のままだと、予防歯科でも歯科医院に行つたら歯を削られるのではないかと思つてしま

い、それが歯科医院の敷居を高くしてしまつてある面があると思います。例えば予防の場合は入り口を変えるとか、フロアを変えるとか、患者さんが安心できる、身構える必要がないことをわかつてもらうこと必要です。

超高齢社会の日本 歯科業界の近未来の姿

宇田川 今から30～40年後には激な人口減少と、人口の半分近くが高齢者という超高齢社会が待っています。治療の中心は歯周病と、



檜山雄彦 ひやま歯科クリニック 院長

メインテナンスなどの予防になるのではないかでしょうか。当然訪問歯科診療の需要もかなり増加するでしょう。こういった、将来に向けて我々歯科医師が心がけるべき点はどうでしょうか。

武知 たしかに、以前と比べると

患者さんのニーズが変わってきてるようですね。痛くなればよいという段階から、より快適な噛み心地や審美的に美しい状態が求められています。ですから将来的には予防中心、治療中心、審美中心といったような各分野の専門化が進むでしょう。私たちはこうした

小島 インプラントを入れるにあたっては、光機能化の技術を取り入れています。アバットメントなど、歯茎にふれる部分の素材も、この光機能化の機械にかけると歯茎の状態がより安定します。ですからインプラント歯周炎を防ぐ意味でも、より安心してインプラント治療にあたれます。



武知幸久 医療法人翔志会 たけち歯科クリニック 院長

宇田川 高齢者にもより快適な専門的な治療をという社会の要請に的確に応えるために、将来は、いわば総合歯科ともいえる、歯科医院の大型化が進むかもしれませんね。同時に、歯科医院が健康維持のための中心となる役割を果たす、そこに行けば必要な情報が手に入り、治療と健康維持が果たされるような歯科医院のあり方が想像されます。歯科医師の役割がますます重要となっていくことだけは、間違いないと思います。



が登場するなど、材料学の進歩が速いので、素材開発の未来は明るいでしょう。また、インプラント

素材のチタンの老化を防ぎ、骨と結合率向上に画期的な効果を発揮するUCLAの小川隆広先生が開発した光機能化技術は、日本が誇る世界最先端の成果として、世界の学会に認められつつあります。

浜崎 当院ではジルコニア系の補綴物の導入を進めています。インプラントでも使えますし、メタルのようにアレルギーもなく、白く、硬いので患者さんからも喜ばれています。

荻原 私は、これからは入れ歯がクローズアップされるのではないかと思っています。よい素材も開発されつつありますし、高齢者にとっては、手術など負担の大きいインプラントに代わるものといえるのではないか。

小島歯科室



常勤 Dr. 5 名

「噛める」を取り戻すインプラントと矯正

小島歯科室では、一生自分の歯で食べてもらうために予防に力を入れている。「定期メインテナンスでの歯石取りなどはもちろん、矯正治療は見た目の美しさだけでなく、歯並びが整うことでお手入れがしやすくなり、実は虫歯や歯周病の予防となります」。

すでに欠損歯がある場合は、治療期間が短くて済む「抜歯即時インプラント」と「即

時荷重インプラント」を行い噛める口腔を取り戻してくれる。「健康な

歯と、き

れいな歯並びの素敵な笑顔

で自分に

自信を持つて、

積極的に

人生を楽しんでい

ただきたいと願つ

ています」。

院長 小島 利文

住所 愛知県東海市豊木島町伏見2-24-10

電話 052-601-8001

診療内容 インプラント・矯正・予防歯科・ホワイトニング
一般歯科・口腔外科

診療時間 月～金 9:00～12:30 14:30～19:00
土 9:00～14:00

休診日 日・祝祭日

<http://www.kojimashika.com>

主な診療料：インプラント30万円～、矯正80万円程度、ホワイトニング3万円～